



葉山町

議会だより

No.
126
2016.11.15

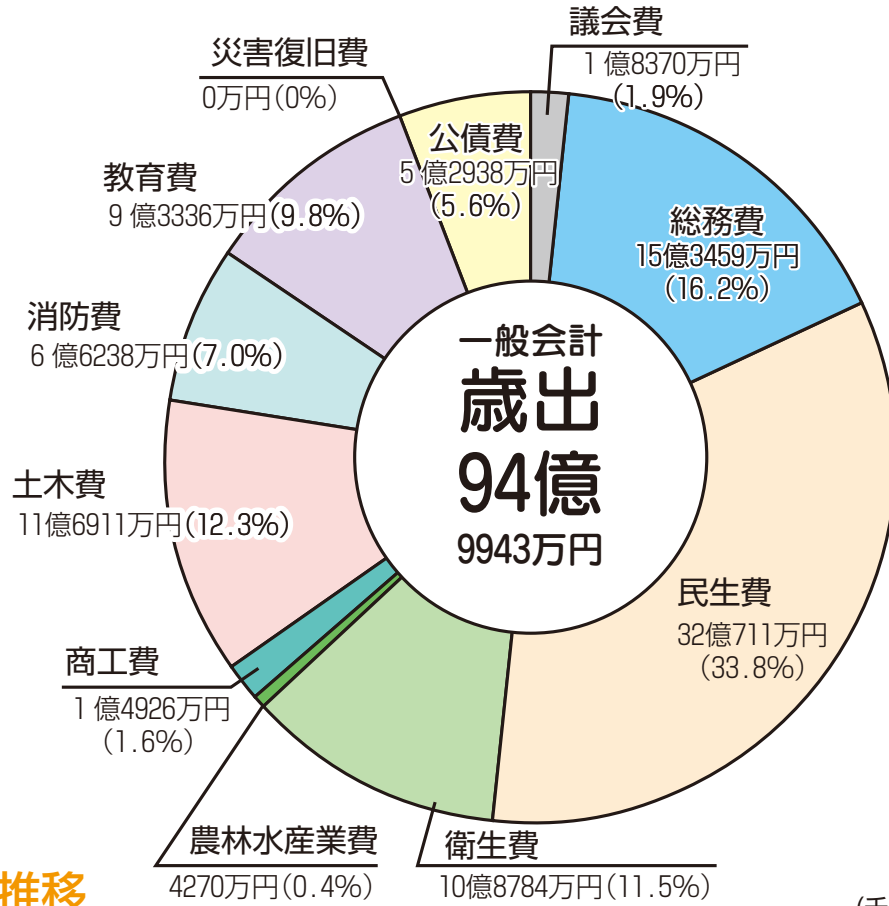
学校給食センター用地調査等予算化 …… 9
一般質問は、12人が登壇 …… 16
細川前議員再び不服申し立て …… 23

<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>



裏表紙に
関連記事

会計決算を認定



5年間の歳出推移

(千円以下四捨五入)

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
一般会計	89億3866万円	91億7642万円	88億4773万円	93億6014万円	94億9943万円
国民健康保険	35億8077万円	37億9418万円	38億9140万円	38億2274万円	42億5370万円
後期高齢者医療	6億8317万円	7億3616万円	7億2984万円	8億4394万円	8億2734万円
介護保険	22億376万円	23億6220万円	24億3140万円	25億5462万円	26億5028万円
下水道事業	11億1584万円	11億1682万円	11億1258万円	12億1609万円	13億9008万円
特別会計小計	75億8354万円	80億936万円	81億6522万円	84億3739万円	91億2140万円
総合計	165億2220万円	171億8578万円	170億1294万円	177億9753万円	186億2083万円

町債残高

一般会計	56億9539万円
下水道事業特別会計	79億1931万円
合計	136億1470万円

基金残高

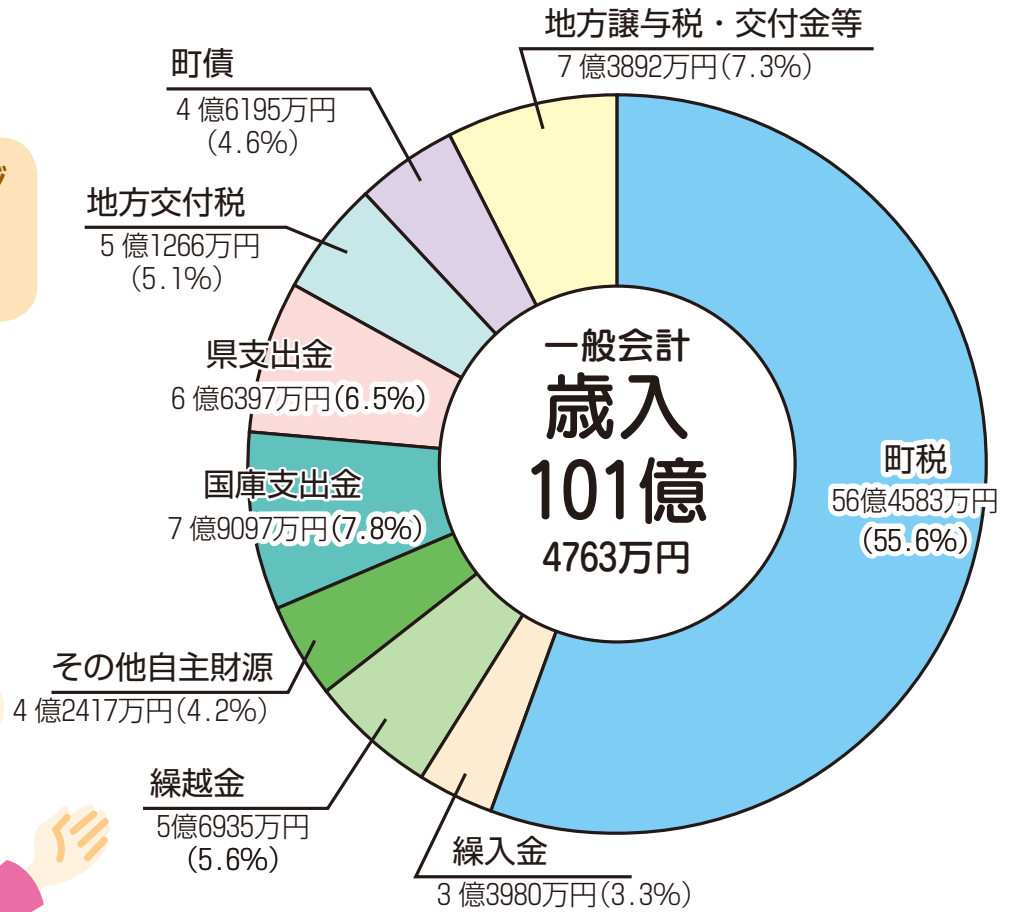
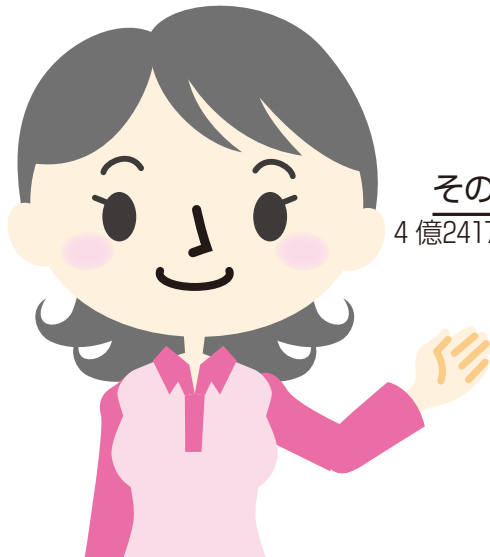
財政調整基金	8億8648万円
公共公益施設整備基金	6億7196万円
ふるさと葉山みどり基金	9751万円
教育基金	1000万円
国民健康保険事業運営基金	1億3528万円
介護保険給付費支払基金	1億8290万円
合計	19億8412万円

平成27年度

決算の概要

全ての

※詳細は町ホームページ「葉山の町政」からご覧いただけます。



「葉山町人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

葉山町総合戦略等策定事業
490万円

防犯カメラ14台を国県道に設置した。

交通安全・防犯対策事業
752万円

情報システム共同事業負担金等。

神奈川県町村情報システム共同事業
1億543万円

約システム）利用料等。

OA系パソコン借上や、グループウェア（職員による公用車や会議室等予約システム）利用料等。

事務処理OA化事業
2178万円

空き家対策推進事業
562万円

空き家の適正管理や有効活用を図るため、実態調査を行った。

町PR事業
536万円

町ホームページの維持管理や英語版ガイドブックの作成等を行った。



英語版ガイドブック

決算特別委員会審査 どんな成果があったか

小児医療費助成事業

1億83万円

小学校1年から6年までの通院医療費の助成にあたり、所得制限を撤廃し制度の拡充を図った。

個人番号カード交付事業

1億154万円

地方公共団体情報システム機構（J-LIS）への関連事務委託と、個人番号カード交付等に関する事務を行った。

在宅障害者への生活支援事業

1億1836万円

補装具給付、医療費助成、住宅設備改良費補助等を行った。

在宅高齢者福祉サービス事業

34万円

緊急通報システム事業、短期入所生活介護看取り加算金の交付を行った。

放課後児童健全育成事業

2517万円

葉校、上山口、下山口児童館、青少年会館において児童クラブを行った。また、一色小旧校舎にお

いて、民間事業者が新規に児童クラブを開設するための補助を行った。

サイクルステーション整備事業

124万円

長者ヶ崎駐車場敷地内に自転車用区画を整備した。



長者ヶ崎のサイクルステーション

水産多面的機能発揮対策事業活動組織支援事業

68万円

アマモの苗の育成や、漁場底質の改良事業等を支援した。

消費喚起プレミアム商品券発行事業

2564万円

商工会が行う発行事業に対し経費補助を行った。

観光施設維持管理事業

2263万円

仙元山ハイキングコース手すり支柱改修工事や、長者ヶ崎北公衆トイレ撤去工事等を行った。

海水浴場開設事業

1924万円

町内3カ所の海岸に海水浴場を開設し、監視員、救護員を常駐させた。警備委託も行った。

消防団活動事業

994万円

防火衣や可搬ポンプ等購入、団デジタル無線電波利用料等。

消防車両整備事業

4184万円

消防ポンプ車の更新を行った。

共同指令センター運用管理事業

8317万円

共同指令センター共通設備利用負担金、消防救急デジタル無線活動波共通設備利用負担金等。

防災対策強化事業

2033万円

三ヶ岡緑地津波避難路

整備設計委託、避難所（葉山小体育館）太陽光パネル設置工事を行った。

地球温暖化対策事業

134万円

家庭用燃料電池システム（エネファーム）や定置用リチウムイオン蓄電システムの設置を補助した。

下水道投入施設維持管理事業

5338万円

し尿及び浄化槽汚泥の処理のため、浄化センター内にある投入施設の点検や清掃等を行った。

小学校耐震整備事業

3371万円

上山口小、長柄小で体育館天井等非構造部材の工事を行った。

中学校管理事業

8329万円

各中学グラウンド調査委託や空調設備の設置工事等を行った。

長柄桜山古墳群調査整備事業

1128万円

第1号古墳の整備工事や案内板設置を行った。

南郷地区活性化事業

3800万円

HAYAMA STATION開設にあたり、葉山町商工会を支援した。修工事等を行った。

図書館運営費

4144万円

外壁等の調査や、エレベーター及びトイレの改修工事等を行った。

河川維持補修事業

4298万円

森戸川支流大南郷川の河川整備工事を行った。

緑の保全事業

3873万円

イトーピア緑地散策路の整備等を行った。

スポーツ振興事業

408万円

自転車レースイベント（ヒルクライム）支援や町民体力測定等を行った。



イトーピア緑地散策路

決算審議総括質問

こんな点が気がかり

質問者の原稿を基に作成しています

9月14日・15日、27年度決算に対し、5人の議員が総括質問を行いました。

飯山直樹
(民進党)

問 新公会計制度への移行により、会計処理は複雑になる。公正妥当な評価に向けた体制への考えは。

政策財政部長 導入後も監査委員で対応する。

問 提供サービスの対する町民の満足度評価は。

町長 行政サービスの満足度評価は、全分野にあてはまるといふ風には考えていない。

問 財政は綱渡り寸前状態。人件費割合が他自治体と比較して大きい。

町長 人件費比率ひとつで良し悪しを判断するのは、良くないと考える。

問 決算に事業進捗管理が欠如しているが。

政策財政部長 夏からの各課ヒアリングにより進捗管理し、今後の対応を検討中だ。

畑中由喜子
(いきいき葉山の会)

問 平成27年度予算執行上の課題や問題点は。

町長 監査意見書に指摘のある、不用額の解決が課題と捉えている。

問 第四次葉山町総合計画と連動してスタートした。PDCAサイクルによる進捗管理を行い、事業成果の最大化を図っているが、主要な事業の実施結果の公表は。

政策財政部長 夏に各課ヒアリングを行い、実施計画に基づいた進捗状況を確認し、翌年度以降に反映させる対応を図る。

問 基本計画の中には、「まちづくり指標」として平成32年度の目標である「めざそう値」が示されているが、中間発表としても達成度を数値として出すべきではないか。

町長 なるべく数字的な根拠をもって出せるよう努めたい。

政策財政部長 事業の振り返りは初年度でちよつと時期がずれてしまい、十分反省している。次年度以降は、決算資料や監査資料の作成と同時に業務の振り返りも、対応を図る仕組みを考えたい。

伊東圭介
(尚政会)

問 平成27年度は、第四次総合計画の初年度になる。今後の進捗管理が重要になると思うがいかが。

政策財政部長 この夏に27年度の進捗状況について政策課から各課にヒアリングを行った。

問 実質公債費率が年々下がりマイナス0.3%。どこまで下げるのか。

町長 多岐にわたっており、検討改善をしっかりと、より良いものにして進めていく。

問 安全対策を強力にやるべきであったがどうか。

町長 要望は行っている。南郷活性化事業について、町として実行委員

問 機構改革が行われたが評価を伺う。

町長 新設の政策課、町民健康課、公共施設課等、まだ課題もあるので、事務分掌を含め、今後も検討を重ねて住民サービスの向上を目指したい。

問 消防指令業務の共同運用の成果を伺う。

消防長 救急出動の時間短縮等もあり順調である。

窪田 美樹
(日本共産党)

問 「葉山町の財政決算版」に「民間基準でも胸を張れる健全財政になった」とある。民間基準を指しているのか。

町長 いない。

問 例年通りの結論だ。会への加わり方について、借金を減らし、コスト削減した町政運営を続けた結果の数値と考える。

町長 業実行委員会が組織され、町としては積極的にはかわっているものの、全てを増やすという意味か。

町長 今回のうちが増やしているは、反省点だ。

問 徴収業務強化が評価されているが、厳しすぎませんか。

問 交通渋滞の対策も、もつと詰めていくべきではないか。

町長 慢性的な渋滞の解消という課題として捉えている。解決に向け検討中である。

鈴木 道子
(公明党)

問 ヒルクライムレースについて、スポーツ振興費は適切か。

問 交通安全対策を強力にやるべきであったがどうか。



しおさい公園のつわぶき

決算特別委員会審査報告

決算特別委員会を設置し、待寺真司委員長のもと、飯山直樹副委員長、横山すみ子、山田由美、窪田美樹、笠原俊一各委員が9月16日から5日間、関係各部長等の出席を求め、審査を行いました。最終日には、町長・教育長に出席を求め次の項目を質問しました。

町長・教育長質問

問 基金の積立てに対する考え方と公共施設等総合管理計画は。

答 基金は多いほどよい。公共施設総合管理計画は28年度策定する。

問 国際姉妹都市交流及び姉妹都市交流の今後は。

答 国外との交流は財政的に厳しいが、ホールドファストベイには一度、私費で出向いて話したい。

問 施設予約システムの対象拡充は。

答 福祉文化会館の予約は、1週間前までは可能な薬剤が増える。

問 自転車による町活性化事業と、道路の安全整備は。

職員のシフトを組む必要がある。対応は

短縮は無理。HAYAMA STATIONへの拡大は商工会と相談中。

29年度予算で示す。一般会計からの繰り入れを増やすと、社会保険加入者に対して不公平になる。

審査結果

問 大規模なものは難しい。スクラップ・アンド・ビルドの時には考える。町民の側からの意見をいただきたい。

「一般会計」「介護保険特別会計」については全会一致で認定しました。「国民健康保険」「後期高齢者医療」「下水道事業」の各特別会計については賛成多数で認定しました。

要望

- 1 税納付の利便性を高めるため、ペイジー、口座振替の普及・促進をさらに図りたい。
- 2 防災備蓄品の管理の徹底と有効利用に努められたい。
- 3 空き家の利活用施策については、他自治体の事例も調査し、さらに研究されたい。
- 4 海岸の電柱の撤去について根本的解決を図られたい。
- 5 町の農業、漁業の活性化と、関連機関との連携を一層深められたい。
- 6 花の木公園と役場周辺道路の整備を適正に行われたい。
- 7 障がい者及び雇用主に障がい者及び雇用主に對する普及促進をさらに図られたい。
- 8 緊急通報システム事業の普及啓発及び対象範囲拡充を図られたい。
- 9 生涯学習（スポーツ・文化）振興のための施設整備に積極的に取り組まれたい。
- 10 松くい虫対策については十分な対応をとられたい。
- 11 汚水処理施設整備構想（下水道10年概成アクションプラン）の具体的な整備方針及び進捗状況を示されたい。

指摘

問 自然エネルギーの普及促進は。

答 県も補助金を減らし下しており、町としても悩んでいるところだ。

問 社会保障としての国民健康保険と、町の現状に對する考え方は。

答 対象者の人数は減っているが、高額な薬剤が増えているので支出は増加している。対応は



葉山公園の松くい虫被害

- 1 消防団員の充足率を高めるよう努めるべきである。
- 2 自転車による活性化事業に当たり、安全な道路整備に万全を期すべきである。
- 3 国民健康保険被保険者の現状の把握に努め、個々に対策を図るべきである。
- 4 付属説明書の記載に当たっては慎重を期し、訂正がないように作成すべきである。

本会議における平成27年度の決算審議結果

畑中由喜子、飯山直樹、窪田美樹、石岡実成、土佐洋子の各議員が討論を行いました。

主な討論内容

賛成

一般会計

- 第四次総合計画実施計画が財政計画と連動してスタートした (畑中)
- 予算計画をほぼ忠実に実行している (飯山)
- 人件費が増大している問題はある (窪田)
- 緊急通報システムの普及を望む (窪田)
- 扶助費増大は時代の流れで仕方ない (石岡)
- 空き家調査や人間ドック助成、ハザードマップ作製等は評価する (石岡)
- 決算書はミスがないよう作成してほしい (石岡)
- 南郷公園テニスコートの予約システムは評価する (土佐)
- ごみ処理費が減ったことは評価する (土佐)
- 共通投票所の設置をお願いしたい (土佐)

国民健康保険特別会計

- 独立採算にするべき (土佐)

反対

国民健康保険特別会計

- 保険料滞納者への対応が厳しくなった (畑中)
- 短期証の方が増えたことは命にかかわる (畑中・窪田)

後期高齢者特別会計

- 制度そのものに反対 (畑中・窪田)

下水道特別会計

- 10年概成プランの具体策がない (畑中)
- 今後の計画・展望が不明確 (窪田)

介護保険特別会計

- 保険料の段階を11段階から14段階に細かくした (畑中)

下水道事業特別会計

- 3団地の方に十分な説明をしてほしい (土佐)
- 下水道接続の期限を、下水管敷設後1年以内から3年以内に延長するという制度変更をお知らせしてほしい (土佐)

審議の結果

◎一般会計	全会一致
◎国民健康保険特別会計	賛成多数
◎後期高齢者医療特別会計	賛成多数
◎介護保険特別会計	全会一致
◎下水道事業特別会計	賛成多数

認定

こんなことを決めました

本会議での質疑・討論も含めた報告です



第3回定例会は9月9日から開催し、一般質問は12人が行いました。議案は平成27年度葉山町一般会計歳入歳出決算をはじめ条例・陳情等を審議しました。

■平成28年度葉山町一般会計補正予算(第2号)

●「葉山児童デイ 結」

●歳入概要

●普通交付税 (4873万円)

●地域介護・福祉空間整備推進交付金 (487万円)

●地域密着型サービス施設等整備費補助金 (3200万円)

●子ども・子育て支援交付金 (293万円)

●財政調整基金繰入金 (△5千万円)

●前年度剰余金 (4億604万円)

●歳出概要

●財政調整基金積立金 (1億7千万円)

●公共公益施設整備基金積立金 (2億円)

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要



葉山児童デイ「結」送迎車

●反対討論(飯山)

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

●歳入概要

歳入歳出予算の総額

(千円以下四捨五入)

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一般会計	95億7446万円	4億5421万円	100億2867万円	
特別会計	国民健康保険	41億4178万円	8921万円	42億3099万円
	後期高齢者医療	9億3326万円	4327万円	9億7653万円
	介護保険	28億5551万円	1億3741万円	29億9292万円
	下水道事業	14億6334万円	884万円	14億7217万円
	小計	93億9389万円	2億7873万円	96億7261万円
合計	189億6835万円	7億3294万円	197億128万円	



介護の現場

歳出概要

● 給付費支払基金積立金 (6千万円)

設置するため。

主な質疑

問 他の自治体も一斉に条例改正をするのか。

■ 平成28年度葉山町下水道事業会計補正予算(第2号)

● 前年度剰余金 (2884万円)

歳入概要

● 一般会計繰入金 (△2千万円)

■ 葉山町付属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

介護保険制度において、適切なケアマネジメントを確保するため「葉山町ケアマネジメント適正化推進事業運営委員会」を

● 教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

常勤の特別職に属する職員(町長・副町長・教育長)に新たに通勤手当を支給するため。

● 教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例

常勤の特別職に属する職員(町長・副町長・教育長)に新たに通勤手当を支給するため。

主な質疑

問 教育長には通勤手当の項目がなかったということか。

答 そうだ。

問 通勤手当以外の項目は検討したか。

答 していない。

問 行政の瑕疵ということで遡及支給はないのか。

答 法令改正は施行された時点以降の適用が原則であり、遡及適用は法の安定性からも望ましくない。

賛成討論(土佐)

人材確保の観点から当然であり、施行期日も妥当だ。

■ 前記条例について施行期日を平成29年4月1日とする修正(議員提案)

町の将来財政方針が示されていない。

反対討論(飯山)

町の将来財政方針が示されていない。

賛成討論(笠原・鈴木)

条例改正は適切であるが、施行期日は平成29年4月1日が適切である。

● 監査委員の選任について

水庫正裕氏を選任

● 専決処分の報告

平成28年4月7日に決定した細川慎一氏の失職が、同年7月15日付神奈川県知事の裁決により取り消されたことに伴い、側が一旦取り下げ、改めて一部経費を繰越明許費として再提案されたもの。

主な質疑

問 繰越明許費の理由は。

答 期間に余裕を持たせ、応札しやすくするためだ。分割入札も可能だ。

歳出概要

● 議会運営事務費 (11万円)

除名処分を受けた者から県知事に審決申請書が提出されたことを受け、

■ 平成28年度葉山町一般会計補正予算(第4号)

補助金があるのか。

歳出概要

● 学校給食センター整備事業 (3320万円)

給食センター建設に当たり、敷地造成工事に必要な測量・地質調査・設計業務に要する経費。当初は、3320万円全額を繰越明許費として提案されたため、議会ではその対応に疑問が生じ、町

反対討論(山田)

当初から合意形成の認識が甘い。

● 造成の安全性や費用面など疑問が多い。

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

災害時の対応、高齢者への配食、食育の推進など、町の給食センターとしての位置づけを望む。

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)

一定の理解は得られたと判断し、今後はきめ細やかな説明、情報の

賛成討論(待寺・窪田)



学校給食センター建設予定地(葉山中学校駐車場)

平成28年 第3回定例会 表決結果

議員氏名 (議席順)	横山 すみ子	金崎 ひさ	鈴木 道子	飯山 直樹	山田 由美	窪田 美樹	畑中 由喜子	石岡 実成	待寺 真司	伊東 圭介	笠原 俊一	土佐 洋子	近藤 昇一	結 果
議案・決議・意見・陳情等														
平成28年度葉山町一般会計補正予算 (第2号)	○	○	○	× 討論	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
決算の認定について (平成27年度葉山町一般会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成27年度葉山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	× 討論	× 討論	○ 討論	○	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成27年度葉山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	× 討論	× 討論	○ 討論	○	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成27年度葉山町介護保険特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	○ 討論	○ 討論	○ 討論	○	○	○	○ 討論		認定
決算の認定について (平成27年度葉山町下水道事業特別会計歳入歳出決算)	○	○	○	○ 討論	○	× 討論	× 討論	○ 討論	○	○	○	○ 討論		認定
教育長の勤務時間その他の勤務条件に関する条例による廃止前の教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 (上/議員提案による修正案 下/修正部分を除く原案)	○	○	○ 討論	× 討論	○	○	○	○	○	○	○ 討論	× 討論		修正 可決
平成28年度葉山町一般会計補正予算 (第4号)	○	○	○	○	× 討論	○ 討論	○	○	○ 討論	○	○	○		可決
下山口マンション計画について、町長に慎重な判断を行うよう要望していただくための陳情書	×	×	×	×	○ 討論	× 討論	× 討論	× 討論	×	×	×	×		不採択
下山口マンション計画に関する陳情書	×	×	×	×	○ 討論	× 討論	×	× 討論	×	×	×	×		不採択

(議長に表決権はありません。可否同数のときのみ議長が決します)

◎は提案者 ○は賛成 ×は反対

全会一致の可決議案等

平成28年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	可 決
平成28年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号)	可 決
平成28年度葉山町介護保険特別会計補正予算 (第2号)	可 決
平成28年度葉山町下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	可 決
葉山町附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可 決
監査委員の選任について	同 意
平成28年度葉山町一般会計補正予算 (第3号)	可 決
「議案第27号 平成28年度葉山町一般会計補正予算 (第4号)」撤回の件	許 可
返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	可 決
平成29年度における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情	採 択
平成29年度における透析治療への通院困難者に対する「通院支援」についての陳情	採 択
平成29年度における「慢性腎臓病 (CKD) 及び生活習慣病対策」についての陳情	採 択
日米地位協定の抜本的改定を求める陳情	趣旨了承
まちづくり条例の手直しに関する陳情書	趣旨了承

意見書を提出しました

地方自治法第99条の規定により、国会または関係行政庁へ送付しました。
紙面の都合上内容は要約しています。

原発事故避難者に対する住宅支援の継続を求める意見書

東日本大震災に伴う福島原発事故から5年半の月日が経ったが、事故によってふるさとを離れることを余儀なくされた避難者は、今も約10万人に上り、神奈川県でも3千人近い方々が避難生活を送っている。

しかし、政府と福島県は昨年、避難指示区域外からの避難者に対する借り上げ住宅等の無償提供を2017年3月限りで打ち切ることを決定し、来年度からの福島県による支援策についても、対象範囲や期間、補助額等は限定的で、住宅支援の継続、拡充を希望する多くの避難者のニーズに十分にこたえるものとはなっていない。住宅は最も基本的な生活の基盤であり、自助努力で避難生活をつないでいる母子避難の方々にとっては、唯一の命綱となっている。これを打ち切られることは、直ちに経済的な困窮に陥るばかりでなく、子どもたちの未来をも断ち切ることになりかねない。

2012年に制定された原発事故子ども・被災者生活支援法（以下支援法）は、被災者一人ひとりが、「居住、他の地域への移動及び移動前の地域への帰還についての選択を自らの意志によって行うことができる」ように、「そのいずれを選択した場合であっても適切に支援」することをうたっている。避難者への住宅支援は、本来この支援法に基づく抜本的な対策や新たな法制度の確立が必要である。

よって、国及び県におかれては、次の事項について実現されるよう強く要望する。

- 1 2017年4月以降についても、福島原発事故による避難者への住宅支援策を継続、拡充させること。
- 2 支援法に基づき、抜本的、継続的な住宅支援が可能な新たな制度を確立すること。

返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

現行の国の奨学金制度は、独立行政法人・日本学生支援機構を通じて学生に貸与し、その返済金を次世代の奨学金の原資とする形で運営されている。

この奨学金制度は、国立大学、私立大学とも授業料が高止まりしていることなどが背景となって、利用者は2016年度大学生らの約4割にあたる132万人と増加傾向にある一方、非正規雇用などによって卒業後の収入が安定せず、奨学金の返済に悩む人が少なくない。

そのような中、政府は6月2日に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」において、返済不要の「給付型奨学金」の創設を検討することを盛り込んだ。

現在、OECDに加盟する34か国のうち、給付型奨学金制度がないのは日本とアイスランドだけである。

よって政府においては、納税者である国民の理解も得つつ、学生が安心して勉学に励めるよう、返済不要の「給付型奨学金」の創設や無利子奨学金の拡充など具体的な経済支援策として、次の事項について取り組むことを強く求める。

- 1 学ぶ意欲のある若者が経済的理由で進学を断念することがないように、奨学金や授業料減免などの支援を拡充するとともに、貧困の連鎖を断ち切るため、2017年度を目途に給付型奨学金を創設すること。
- 2 希望するすべての学生等への無利子奨学金の貸与をめざし、「有利子から無利子へ」の流れを加速するとともに、無利子奨学金の残存適格者を直ちに解消すること。
- 3 低所得世帯については、学力基準を撤廃し無利子奨学金を受けられるようにすること。
- 4 返還月額が所得に連動する新所得連動返還型奨学金制度については、制度設計を着実に進め、既卒者への適用も推進すること。併せて、現下の低金利環境を踏まえ、有利子奨学金の金利を引き下げること。

三浦半島中央道路北側工区の早期着工実現の意見書

平成16年3月に、三浦半島中央道路の一部である湘南国際村から長柄地区間が開通して、既に12年余りが経過した。この一部開通が、国道134号線の交通緩和に大変寄与していることは、高く評価している。

しかしその反面、開通当初から懸念されていたとおり、同区間の利用者の多くが逗子方面に行くため住宅地内の町道を通り抜けていることにより、地域住民の安全・安心が脅かされ、また排気ガスにより住環境が悪化していることも事実である。

それに加え、平成28年9月1日に、三浦半島中央道路の長柄出口付近にショッピングプラザHAYAMA STATIONがオープンしたことにより、住宅地の通り抜けがさらに増える恐れがあることから、三浦半島中央道路北側工区の早期開通は急務である。

さらに2020年のオリンピックでは、鎌倉・逗子・葉山がセーリング会場の1つとなると報道されており、交通渋滞緩和のための交通インフラの充実は不可欠である。

よって、神奈川県知事におかれては、懸案となっている三浦半島中央道路北側工区の工事について早期着工・開通を実現されたい。

継続して審査します

◎陳情 刑法犯及び特別法犯議員の除名および判決確定までの報酬差し止めに関する
条例改正を求める（再提出）……………（議会運営委員会）

委員会 レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

日米地位協定の抜本的改定を求める陳情

米軍関係者の事件が繰り返される原因の一つに、米軍とその関係者に主権が及ばない日米地位協定があるため、日米地位協定を抜本的に改定するよう、国に対し意見書を提出することを求めているものです。

審査は、現地調査



マンション建設予定地

委員からは「陳情者の願意は理解できるものの、事業主側が住民の意向を汲んで適法に事業を進めていると担当課から説明があり、また議会が事業者に対し申し入れを行なうことはできない」との意見が大勢を占めました。「趣旨了承」との意見は賛同者がなく、賛成なしで不採択となりました。



「市庁舎整備検討委員会」での検討を経て、市庁舎の整備方針を、廃校とな

委員の総意は、本年第2回定例会で既に同趣旨の意見書を国に対し提出しており、陳情者の願意は達成されているとして、全会一致により趣旨了承としました。

委員の総意は、本年第2回定例会で既に同趣旨の意見書を国に対し提出しており、陳情者の願意は達成されているとして、全会一致により趣旨了承としました。

委員からは「陳情者の願意は理解できるものの、事業主側が住民の意向を汲んで適法に事業を進めていると担当課から説明があり、また議会が事業者に対し申し入れを行なうことはできない」との意見が大勢を占めました。「趣旨了承」との意見は賛同者がなく、賛成なしで不採択となりました。

委員からは「陳情者の願意は理解できるものの、事業主側が住民の意向を汲んで適法に事業を進めていると担当課から説明があり、また議会が事業者に対し申し入れを行なうことはできない」との意見が大勢を占めました。「趣旨了承」との意見は賛同者がなく、賛成なしで不採択となりました。



氷見市長とフューチャーセンターにて

行政視察報告

平成28年6月21日～22日

(1)富山県氷見市

学校施設を活用した市庁舎整備（フューチャーセンターについて）

氷見市では、平成23年度の調査で旧庁舎の耐震性能が基準を大きく下回ったこと、また津波の浸水想定域内に位置づけられたため、庁舎建て替えの検討に入りました。

「市庁舎整備検討委員会」での検討を経て、市庁舎の整備方針を、廃校とな



廃校舎を活用した市庁舎

った旧県立高校の体育館を改修して再利用すると決めました。

庁舎づくりにあたっては、ファシリテートを活用した市民との徹底した対話による庁舎づくりが行われ、非常に心地良い庁舎となりました。

(2)石川県七尾市

(株)御祓川の取り組み

中心市街地のまちづくりについて(七尾マリ

ンシティ構想)

庁舎づくりの基本理念として、フューチャーセンターが位置づけられ、これからの45年後を見越

して、開かれた庁舎で、対話のある市政、市民との政策を作り上げる場とするとのことでした。

昭和60年ごろ、政治的にも経済的にも落ち込んでいた七尾市の青年会議

所が、「海・港」から「ま

ち・経済・市民意識」を再生する「七尾

マリシティ構想」を打ち出し、港に

「能登食彩市場」を拠点として作りまし

た。その後駅前にも拠点を

つくり、二核一軸構想と

しました。

しかし、軸上を流れる水

質汚染が進んだ御祓川の再生が不可欠と考えた企業経営者らが設立した会社が「(株)御祓川」でした。

平成11年に出資者8人、資本金5千万円でスタートし、その後増資されています。

設立後から平成15年までの事業

①御祓川の浄化にかかわる事業

●御祓川水質浄化ワークシヨップ

●御祓川浄化研究会

②「界隈の賑わい創出」に関わる事業

●寄合処 御祓館の整備
●暮らしつく館 葦・いしり亭(直営店)の運営

●御祓川2号館への出店
●プロデュース

③「コミュニティ再生」に関わる事業

●川への折り実行委員会
●七尾湾沿岸住民会議の事務局
●全国ドブ川市民サミットの企画運営

現在の事業内容

平成19年の能登地震では、七尾市も震度6の揺れがありました。

この地震をきっかけに事業内容は大きく舵を切りました。川を中心としたコミュニティ再生は、

町への想いを次世代につ

なぎ、持続可能なまちづくりを支える思想を受け継ぐ地域の人材を育ていくことです。

①まち育て：御祓川の浄化

●能登旨美オンパク「うまみん」

②みせ育て：界隈の賑わい創出

●能登スタイルストア
●新商品開発

③ひと育て：コミュニティ再生

●長期実践型インターンマッチング「能登留学」
●多彩な事業を新社長のもとで、パワフルに展開されています。
●まちづくり事業を株式会社として展開されています

るその覚悟と、長期的な視点を持ちながらの多彩な活動は、葉山町にとつても学ぶところが大変多い視察となりました。

なお、各委員の所感をホームページに掲載しています。

委員長 横山すみ子

教育民生

平成29年度における『重度障害者医療費助成制度』についての陳情

神奈川県は平成20年に重度障害者医療費助成制度を変更し、障害者に窓口負担・年齢制限・所得制限を実施した。制度変更後も透析患者は在住市町村の同種の制度により負担なく治療を継続している。今後も障害児者・透析者の負担が少なく、医療を受けられるよう、平成29年度予算の策定を求めます。

担当課から「平成29年度も28年度と同様に事業を継続する予定である」

平成29年度における透析治療への通院困難者に対する『通院支援』についての陳情

透析患者は、週3回通院するが、高齢化に伴う移動困難、家族による送迎困難になっている。また、病院等による送迎は増えているが福祉車両が少ない。車いすを利用する者は福祉有償運送やタクシーを利用するため、負担を強いられているので、通院困難者対策として自動車燃料費の助成及びタクシー券の継続を求めます。

担当課から「平成29年度も28年度と同様に事業を継続する予定である」

との説明もあり、議会の事業の継続と今後一層の充実を求めるため、全会一致で採択しました。

平成29年度における「慢性腎臓病（CKD）及び生活習慣病対策」についての陳情

CKD（慢性腎臓病）対策は、透析患者・治療費の増加抑制に繋がるが、腎臓病予備軍の成人病を抱えた県民への認知度が低いので、将来を担う若者の健康意識教育や、慢性腎臓病に関する啓発活動のための平成29年度予算策定を求めるものです。

行政視察報告

平成28年6月28日～29日

①愛知県尾張旭市健康都市づくりの取り組みについて

尾張旭市は、健康都市宣言を行い、市を挙げての重層的な健康づくり事業を展開しています。

②市民総元氣まる事業

市民が自分の健康状態や普段の生活習慣、体力を客観的に認識し、自分に適した健康づくりの具体的な方法を学び実践することで、健康の維持・増進及び生活習慣病の一次予防を促し、健康寿命の延伸が目的です。保健福祉センター4階を健康づくりの中核フロアとして整備し、元氣まる測定・健康教育・運動実技

所管事務調査
葉山町学校給食基本構想について

9月29日委員会閉会后、東京ビッグサイトで開催中の「フードシステムソリューション2016」を視察しました。学校給食センター建設に際し、

議会も最新の設備や機械類、食器や作業着などの備品類に関し、識見を高めるため実施し「みんないっしょのアレルギー対応給食」と題した講義も受講しました。

指導等を実施しています。②あたまの元氣まる（軽度認知障がいチェックテスト）

認知症の前駆段階である軽度認知障がいを発見し、認知症予防とその必要性への意識を高めることを目的に、平成25年5月から開始しました。

③健康づくりのボランティアについて

オペレーターと受検者が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

い市民で、毎週2回開催し、受検費用は無料です。③健康づくりのボランティアについて

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

市は、自主的な活動を尊重しつつ、会の運営・活動等のサポートとして研修会の開催支援、活動への助言、予算措置（講師謝礼・ユニフォーム作成）などを行っています。

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

市は、自主的な活動を尊重しつつ、会の運営・活動等のサポートとして研修会の開催支援、活動への助言、予算措置（講師謝礼・ユニフォーム作成）などを行っています。

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

市は、自主的な活動を尊重しつつ、会の運営・活動等のサポートとして研修会の開催支援、活動への助言、予算措置（講師謝礼・ユニフォーム作成）などを行っています。

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

市は、自主的な活動を尊重しつつ、会の運営・活動等のサポートとして研修会の開催支援、活動への助言、予算措置（講師謝礼・ユニフォーム作成）などを行っています。

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

市は、自主的な活動を尊重しつつ、会の運営・活動等のサポートとして研修会の開催支援、活動への助言、予算措置（講師謝礼・ユニフォーム作成）などを行っています。



模擬テストの様子

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな

が1対1となり、インターネット接続環境にあるパソコンを使用し、約15分間質問に答えていきます。結果は点数化され、正常な老化現象による物忘れと軽度認知障がいを高精度で判別します。対象は40歳以上の要支援・要介護認定を受けていな



学校地域共同利用施設「スカイアリーナ」



充実したスポーツクラブの設備

田市職員が行います。

成岩地区では、総合型地域スポーツクラブハウスは中学校の敷地内にあり、学校と地域住民が共同で利用します。学校教育に支障のない範囲で地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として開放することになっています。

③事業の概要

●ソーシャルプログラム運営事業

未就学児及び小中学生を対象にした9年一貫指導によるスポーツスクールと、小学生を対象とした平日放課後のプレイスクール、多世代を対象としたスポーツサークルを運営し、生涯スポーツの環境づくりや文化活動の推進を図っています。

この事業の担い手は、地域住民です。「ボランティアアアシスタント」となり、地域の子どもの成長を支え、見守っています。

●子育て・教育支援事業

小学生を対象にクラブが組織するメンバーがクラブハウス内で学習支援を行い、子どもたちの勉強に取り組む姿勢の構築、異世代交流の機会を提供。平日はマイクロボスで迎えに行き、英語・算数の学習や宿題のサポートなど放課後の居場所づくりに寄与しています。また、学校の長期休業中に、学校のプール開放に連れて行くなどの事業を実施しています。

●ウイングプロジェクト

元オリンピック選手や経験豊富な専門家によるハイ

●エクスト運営事業

平成18年度から半田市から指定管理を受け「成

④クラブハウス運営事業

平成18年度から半田市から指定管理を受け「成

クオリティな指導を行っています。ジュニア対象の全国大会出場などを目指すトップアスリートの養成や、大人を対象にワランカ上の健康づくりを求めている方に対し、充実したプログラムを提供。バスケットボール、バレーボール、チアリーダーングのコーチは職員が兼務しています。

岩地区総合型地域スポーツクラブハウス」(愛称NARRAHAWIN G)を運営しています。施設はメインアリーナ、スカイアリーナ、サブアリーナの3つのアリーナ、ジャグジー付きの浴室、カフェスペースなどを設置しています。

の主だった活動をご報告いたします。

27年7月17日

既にICTを導入している寒川町議会視察

7月29日に、鎌倉市、逗子市及び葉山町が、ごみ処理の広域連携の「覚書」を締結し「ごみ処理広域化実施計画」策定の協議を進めるとしています。

27年7月～28年6月

ICT提供者、アプリケーション等の検討・情報共有、および執行部側との協議(4回開催)

28年8月中

また、逗子市と可燃ごみの共同処理の処理単価や焼却炉リニューアルに係る負担割合の考え方に

2業者による、正・副

チーム長他に対する事前説明会、および全チーム員への説明・デモンストレーション開催

委員長 待寺真司

議会運営

議会改革

ICT化推進チームからの報告

28年9月30日

常任委員会での実証実験実施

28年10月3日

実証実験結果を踏まえ、導入に向けた対応検討

委員長 畑中由喜子

チーム長 伊東圭介

車庫部分を造成して建設することに變更し、定例会最終日に測量・地質調査・設計の補正予算を提出する報告がありました。

ICT化推進チーム

議員懇談会

町長招集による会議

議会のペーパーレス化と効率化のためこれまで

1 ごみ処理広域化に向けた進捗状況について

記 近藤 昇一

いっぱん 質問

質問者の提出原稿を基に編集しています

12人が町政を問う

■ 一般質問とは

議員が町長等（執行機関）に対し、町政全般の事務の執行状況や将来方針等の所信や疑問をたずねること、あるいは報告や説明を求めることです。詳しくは議会ホームページをご覧ください。

問 防災会議のメンバーは多士済々であり、定期的な開催を強く望むが、**総務部長** 28人の委員が一堂に集まるのは難しい。課題に特化した分科会が可能か検討する。

問 旧役場跡地バスベイの整備完了後の整備方針は。**町長** バス停にベンチと屋根をつけることで、旧役場跡地というシンボルな場所の価値の向上や、ゆくゆくは跡地の利活用にも資するような良いものを整備していく。

問 旧役場跡地バスベイの整備完了後の整備方針は。**町長** 28年8月に活用指針が示され、災害対応力の向上が目的であるため、効果の研究と策定に向けた検討を行っていく。

問 大規模自然災害発生前に、自治体等がとるべき行動を時系列で示す、タイムライン（防災行動計画）の研究と、今後の導入については。**町長** スクラップ・アンド・ビルドか、長寿命化か議論を深めていく。まさに我々が問われているものを定めるもので、しっかりと議論し、確認した上で進めていく。

問 公共施設等総合管理計画の策定に、財政課・政策課職員の出席が必要だと思いませんか。**政策財政部長** 次回以降、関係課の出席調整を行う。

問 実施計画策定の際、将来のまちづく



待寺真司
町長
旧役場跡地バスベイの整備方針は
ベンチや屋根も良いものを整備する



供用開始が待たれる旧役場跡地バスベイ

横山すみ子
HAYAMA STATIONへのバス路線変更の進展は
町長 京急バスに再度確認をする



当町の説明会は。

町長 金銭的な面がま

まったら、広報はもちろ
ん、私自身も皆さまにご
説明申し上げればと思

う。

問 その後の京急側への

確認はしたか。

町長 行っていない。再
度確認をする。

問 逗子市とのごみ共同
処理の協議内容、及び今
後の方針を伺う。

問 児童館等、町有施設
の空いているときの目的
外使用の考え方を伺う。

町長 7月に覚書を締結、
協議がスタートした。葉
行事など以外は、原則と
して認めていない。

問 児童館等公共施設に

逗子市に試験的に搬入す
るため、搬入ルート、搬
入量、委託費用などを協
議中である。

政策財政部長 現在、公

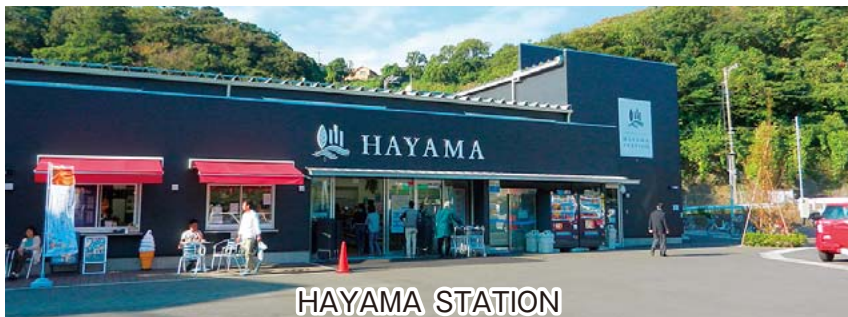
問 協議のポイントは。
いつまで協議するのか。
環境部長 年明けをめど
に一部試行的に受け入れ
ていただく予定。今、あ
らゆる場面での計算の基
礎となる公式を協議中
である。

問 HAYAMA ST

問 逗子市ではすでに8
月に、葉山とのごみ処理
連携の説明会が行われた。
た。

町長 町内会等からの要

望をもとに、8月に京急
バスにその実現を要請し
た。



HAYAMA STATION

笠原俊一
公共施設整備は
町長 28年度中に審議会意見をまとめる



食基本構想に基づく、学
校給食センターの建設な
どがある。

問 逗子市と連携した国
県道整備について聞く。

問 公共施設の最優先に
取り組む事業と、公共施
設等総合管理計画策定に
ついて聞く。

町長 役場庁舎をはじめ、
町施設の多くが建設から
30年以上経過し、大規模
な改修や建替えの検討の
ため、7人の委員による
公共施設等総合管理計画
策定委員会で計画を策定
中で、28年度中には基本
的な方向性をまとめ、29
年度には自身の思いも含め
実施計画を策定する。

また、最優先事業は、
汚水処理施設整備計画ア
クションプランに基づき、
平成37年度までに市街化
区域513分の公共下水道を
整備することや、学校給

食基本構想に基づき、学
校給食センターの建設な
どがある。

問 逗子市と連携した国
県道整備について聞く。

町長 渋滞緩和の有効な
対策の一つとして、三浦
半島中央道の北側の延伸
が挙げられることから、
今後の交流事業は。

問 29年12月にホールド
ン市締結20周年となるが、
ファストベイ市と姉妹都
市締結20周年となるが、
今後の交流事業は。

町長 記念すべき節目も
神奈川県を初め関係機関
に要望をしている。

問 29年12月にホールド
ン市締結20周年となるが、
ファストベイ市と姉妹都
市締結20周年となるが、
今後の交流事業は。



歩行に邪魔な占有物

鈴木道子 図書館へ本の除菌ボックス設置を 教育部長 衛生管理の視点から検討する



市・横須賀市では早期に設置されている状況だ。組み状況はどうか。

教育部長 衛生管理のサービス面から検討する。

問 読書手帳の周知を学調整中だ。

問 スケジュールは。

教育部長 さっそく、対応は図れる。

都市経済部長 11月28日に申請書を提出し、12月下旬に認可の予定だ。

問 災害時のマンホールトイレ設置を提案したが、

井戸水くみ上げの方式が好評だったそうだ。周知

は。

都市経済部長 商工会と協議し積極的に広報する。

問 ご当地結婚証明書の作成を提案するがどうか。

町長 小さい公園での

挙式の希望を実現した。

新たな葉山の価値とできるか検討していく。

問 町立図書館の設備の状況はどうか。

教育長 エレベーター改修・トイレの洋式化・臭気対策を実施した。

問 本の除菌ボックスの設置を提案する。逗子



逗子市立図書館の「除菌BOX」

窪田美樹 消防団処遇改善の報酬の交付税額と現状は 政策財政部長 交付税の基準額は千90万円、支給額は339万円



プール1カ所にし、バスで送迎するというもの。

問 国保料は、県内自治体で1世帯あたり6番目に高く、医療費は31番目で、病院にかかっている者の負担軽減に繋がる、

その他一般会計からの繰り入れは25番目。負担軽減をどのよう

に考えるか。

町長 更

に上

例に基づき支給している。昇が予想され、

状況をみて対応する。

問 認知症サポーター養成講座の実施率がとても低い。優しいまちづくり

に向け、逗子市を例に事業者向け募集を行っては

の候補地の比較に、説明会

でも要望があ

った金額の比較がないが。

調査し断念したというが、候補地でなくなった

ような調査か。

町長 学校プールを温水

や候補地にな



操法演技中の消防団員

石岡実成
町ホームページの改善とスマートフォン対応は
政策財政部長 現在、調査研究中で、迅速に対応する



政策財政部長 現在、予て再検討していく。

問 算を含め調査研究中だ。

問 インターフェイスや運動会を開催しては。

町長 現段階では、なかなか難しいと考える。

問 8月からスタートしたふるさと納税の状況は。

政策財政部長 寄付者は9人、額面にして25万円

政策財政部長 利用できる

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町民が一堂に会する

町長 町民が一堂に会する

問 町ホームページの環境課とも



県内自治体の「スマートフォンと連動したHP」と「ごみ分別アプリ」

金崎ひさ
町長 空き家の利活用でまちづくりを
今ある公共施設で考える



問 員の仕事として、ごみをかなりハードルが高い

町長 主軸に置くことも考える。で、イベントに合わせた

問 28年はごみ啓発のた臨時便などの提案も行った

町長 したが効果がなかった。

問 海岸にごみ箱を設置し、

町長 ごみは町中に出さないと

問 いうのも一つの施策だ。

町長 が必要だが町の対応は。

問 空き家の利活用のたきめ細かな方策に努める。

町長 携をとる。

問 HAYAMAST

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 必要と思

町長 必要と思

問 29年度の対策は。



神奈川県経営者福祉振興財団の元葉山研修センター

土佐洋子
町長 消防団員の確保は
引き続き、消防力強化の向上を図る



問 消防操法大会が役場駐車場で開催され、駐車場の真ん中にある花壇が競技者にとって障害となり、また危険だと思われる。撤去すべきではないか。

消防長 すべての団員、役員にアンケートまたは会議で感想を聞き、検証して第2回以降の場所を検討していく。

問 消防操法大会を見学に来た町民の方への熱中症対策を含めた対応は。

消防長 町民の皆さまが、たくさん来ていただけるように考慮する。

問 町は災害時の協力を制に関する覚書を、関東学生ヨット連盟と結んでいる。春と秋のインカレ

の時に、20校以上の大学ヨット部の約400人の学生が、町内に合宿所を開設する。消防団等に入ってもらうことはできないか。

消防長 横須賀市は機能別の消防団員という制度があり、音楽隊がある。

問 消防団員の資格で在住・在勤以外に在学を認められている自治体もある。ヨット部の学生は海がキャンパスではないのか。

消防長 特化したヨット部の学生の学生が何ができる、何人ぐらいい集まるかが重要。さらに条例改正をして、規則を作らなくてはならないと考



役場駐車場で行われた操法大会

問 全の確保に大きく影響する。災害情報はきちんと届くことが前提では。

町長 防災行政無線は聞こえてないという声がある。まだ解決に至っていないが、色々な機器を試しており、一刻も早い解決に向けて努力している。

問 町は1月に土砂災害ハザードマップを全戸配布した。住民への周知はどのように図られたのか。

総務部長 配布しただけだが、避難路の確認は非常に重要なので、地域の訓練や、ワークシヨップ等で、実際に体験しながら進められたらと思う。

問 町は避難路の整備が



畑中由喜子
町長 災害情報は届いているか
防災無線の解決に向けて努力している

問 全の確保に大きく影響する。災害情報はきちんと届くことが前提では。

町長 防災行政無線は聞こえてないという声がある。まだ解決に至っていないが、色々な機器を試しており、一刻も早い解決に向けて努力している。

問 町は1月に土砂災害ハザードマップを全戸配布した。住民への周知はどのように図られたのか。

総務部長 配布しただけだが、避難路の確認は非常に重要なので、地域の訓練や、ワークシヨップ等で、実際に体験しながら進められたらと思う。

問 町は避難路の整備が

できていない状態だと思ふ。歩道上に電柱があつたりして、車椅子はおろかバギーも通れない所が沢山ある。県への要請を生かすゼロ・ウェイストに取組んでいる。子どもたちへの環境教育は。また、不幸にして、全町避難となった時に、避難所に収容しきれぬのか。

総務部長 現在、県の被害想定では、地震の場合や分別の大切さ、減量化、再資源化を学習している。0人と想定しているが、避難施設は6700人で、**その他の質問** 下水道事業、海水浴場開設事業



防災行政無線「エルラド」

飯山直樹
政策財政部長
思い切ったダウンサイジングを公共施設計画に
厳しい財政下において負担の軽減・平準化が必要



要。25%縮減策は、施設数をもとに公共施設の維
 の一部だけを縮減するこ
 とは現実的ではない。ア
 イデアはあるか。ア
 ミングをどう考える。

問 公共施設は数十年に
 わたり、年コストの10%
 以上を使い続ける。費用
 算出対象が大規模改修と
 建替え更新だけが、維
 持、事後・予防保全策が
 長寿命化の主体となる。
 これらとオペレーション
 を含めた全コストを正確
 に計画に反映すべきだ。

政策財政部長 コスト抑
 制策として事後・予防保
 全に努めている。計画立
 てて取り組む。

問 現在の
 耐用年数は
 税法上の償
 却年数であ
 り、建築物
 の寿命とは
 関係ない。
 実際は優に
 100年以上使
 える。間違
 った耐用年

問 保全策が長寿命化策
 の主体となれば大きなコ
 スト削減となり、削減分
 を必要とされるサービス
 に充当するなどできる。

答 関係ない。実際は優に
 100年以上使
 える。間違
 った耐用年



逗子市の複合施設

問 学校給食は自校方式
 が望ましいが、最大の制
 約要因は敷地面積と考
 える。葉山小では、2階建
 の給食室はどうか。一
 色小では旧校舎を撤去し
 て、駐車場込みの複合施
 設を建てたらどうか。不
 可能なら、試算で示すべ
 きでは。

教育部長 今この場で答
 えるのは難しい。

問 まちづくり条例の改
 正について。魅力的な町
 でなければ、さびれてい
 く可能性が高い。町の存
 続のため、どのような条
 例が必要と考えているか。

町長 当面の目標は条例
 の改正よりも、地域住民
 活動の促進だと考える。

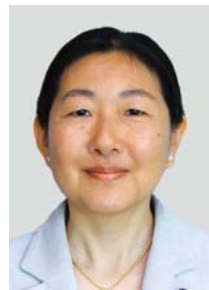
問 地区計画の決定には、
 地域住民の80%の同意が
 必要となっている。この
 数字を下げることは不可
 能か。

都市経済部長 地区計画
 は都市計画法
 で規制をかけ
 るもの。地区
 計画に位置づ
 けるためには
 必要な数字だ。

問 この夏の
 水質悪化の原
 因と対策を問
 う。

町長 海水浴
 場の水質は川
 や潮流、天候
 等に影響され
 るため、原因
 はわからない。

山田由美
教育部長
自校方式が不可能なら、試算で示すべきでは
今この場で答えるのは難しい



町がまちづくり推進協議
 会を支援することで、魅
 力的なまちづくりを期待
 できる。

問 旧役場跡地のバスベ
 イ工事によって、残りの
 敷地の利用価値が低下し
 たのでは。公園や保育施
 設などに利用する計画は

問 地区計画の決定には、
 地域住民の80%の同意が
 必要となっている。この
 数字を下げることは不可
 能か。

都市経済部長 地区計画
 は都市計画法
 で規制をかけ
 るもの。地区
 計画に位置づ
 けるためには
 必要な数字だ。

問 この夏の
 水質悪化の原
 因と対策を問
 う。

町長 海水浴
 場の水質は川
 や潮流、天候
 等に影響され
 るため、原因
 はわからない。



一色小学校給食室

伊東圭介 町長 既成宅地の防災工事等助成事業の導入を 課題はあるが、やるべきだと思おう



問 土砂災害警戒区域等の指定を受けての町の対応を伺う。

町長 町内には、土砂災害警戒区域として21カ所が指定されている。28年1月に土砂災害ハザードマップを全世帯に配布したほか、急傾斜地崩壊危険区域16カ所及び地すべり防止区域5カ所が指定されているが、町と県で定期的なパトロールの実施と併せて、防災対策工事の実施を県に要望している。

問 近隣市でも行っている既成宅地防災工事等助成事業を導入すべきでは。
町長 課題はあるが、やるべきだと思おう。

問 同時に大きくなった立木・高木の伐採についても助成制度を導入することは、防災上有効だと思いがいかかか。

町長 慎重に制度設計をしなければならぬが、制度自体は確実に実施していきたいと思う。

問 投票率向上に向けた選挙管理委員会としての取り組みについて伺う。

選挙管理委員会書記長 28年7月に行われた参議院議員選挙では、新たに有権者となった18・19歳への啓発ハガキの発送と、期日前投票請求書兼宣誓書を町ホームページからダウンロードと「広報はや

ま」及び選挙啓発チラシに掲載し、事前に家庭で記入できるようにした。
問 2カ所目の期日前投票所や投票日当日の共通投票所の設置は。

選挙管理委員会書記長 商業施設等も視野に入れ検討する。



防災工事実施現場

議員研修会

山梨学院大学大学院研究科長・法学部教授の江藤俊昭氏に「犯罪を犯した議員に対する議会としての対応」〈議会基本条例・議員政治倫理条例〉の講



演を受けました。選挙時、冒頭に、議員がこのような犯罪を犯したことが前提で、自ら辞職しないこと、意味をはき違えた「多様性」(裁きを受けた人間に対して、社会はどのように接するのか)を強調して弁明しているなど驚きで、あると感想がありました。議会として辞職への道を模索、住所要件で「失職」とし、県知事の審決で無効となりましたが、直ちに懲罰による「除名」は、住民感覚に沿っていないということでした。

研修会終了後、引き続き江藤先生からアドバイスを受け条例改正の進め方を進めることになりました。

町村議会広報研修会に参加して

(7月12日)

葉山町の議会だよりも常に心がけていることですが、町の課題を町民読者に分かり易くとの目標で文字を少なくすることが大前提であると強調されました。

- ①自治体議会の存在感を
- ②住民の知りたいニーズに答える広報になっているか。
- ③定例会のお知らせに終始していないか。
- ④住民が主体的に参加する協働広報になっているか。
- ⑤多様なメディアを活用した広報がなされているか。

以上5つのチェックポイントを学びました。表紙を見て思わず手に取ってみたいような議会だよりを目指してさらに精進してまいります。

細川前議員が再び不服申し立て

細川慎一氏は7月20日の全員協議会において、覚せい剤を会派室に持ち込み、使用していたことを認めました。

議会は除名処分

細川氏のこの言動は、著しく議会の品位と尊厳を傷つけるものであるとして、会議規則に基づき7月25日に「除名」処分となりました。

細川氏再び不服申し立て

その後、8月15日に、

細川氏代理人から、

①覚せい剤使用が議場外の議員の個人的行為であるので、懲罰事由の対象とならない。

②懲罰事犯のあった日から起算して3日以内に懲罰動議が提出されていらないので無効である。

③除名の懲罰が重すぎる。との理由で取り消しを求め、請求が神奈川県知事に提出されました。

ただちに自治処理紛争委員が指名され、葉山町

は適用されない」となっている。本件では、全員協議会で懲罰事由が明確になり、2日後に懲罰動議が提出されているので、短期時効の規定についても違法には当たらない。

③議員は特別職の公務員として、一般職の公務員以上に、町民全体の奉仕者として、人格と倫理の向上に努め、品位と名誉を損なうような一切の行為を慎まなければならない。

①最高裁判例から見ても、議会外の行動であっても、議会の円滑な運営を阻害し、品位や尊厳を失墜させるようなものである場合には懲罰の対象とすることができるとのこと。

②3日間の時効については、会議規則では議場内で行われた事犯が対象であり、今回の案件のように、議場外で秘密裏に行われた破廉恥事件であり、犯行の時から起算するのは不合理であり、地裁判例でも「議場外での行為に

も「議場外での行為」となり。

黒岩県知事の審決を待つ

今後、知事の審決待ちとなります。

議会活動日誌

125号発行以後、126号発行までの活動報告をいたします。

7月

20日 細川慎一前議員に関する調査特別委員会
25日 議会運営委員会
29日 懲罰特別委員会
30日 議会広報常任委員会

8月

9日 教育民生常任委員会
26日 埼玉県ときがわ町視察来町議会広報常任委員会
29日 議会広報常任委員会

9月

2日 議会運営委員会
9日 議会広報常任委員会
14日 議会広報常任委員会
15日 議会広報常任委員会
16日 教育民生常任委員会
20日 決算特別委員会
21日 決算特別委員会

10月

3日 議会広報常任委員会
4日 議会運営委員会
11日 議員懇談会
12日 議会広報常任委員会
13日 議会広報常任委員会
18日 議会広報・議会運営委員会合同行政視察
19日 議会広報・議会運営委員会合同行政視察
20日 議会広報常任委員会
21日 議会広報常任委員会
27日 議会広報常任委員会
28日 議会広報常任委員会

11月

1日 議会運営委員会
2日 議会広報常任委員会
10日 鳥取県中部議長会視察来町

20日	16日	15日	14日	9日	2日	9日	26日	29日	25日	20日	20日	29日	30日	28日	29日	28日	27日	26日	23日	21日
決算特別委員会	決算特別委員会	教育民生常任委員会	教育民生常任委員会	議会運営委員会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	埼玉県ときがわ町視察来町議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	懲罰特別委員会	議会運営委員会	細川慎一前議員に関する調査特別委員会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	議会広報常任委員会	議員研修会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会

表紙説明

男子・女子が入り混じったので、手に汗握る一進一退の攻防は、見ているギャラリイもハラハラドキドキしたと思います。

今年の葉山小学校運動会、騎馬戦『風林火山・黄色組対赤色組』のワンシーンです。



勝利したチームの嬉しそうな顔は、普段なかなか見ることができない心洗われる笑顔でした。低学年の『力の

被災地へのお見舞い

熊本地震に際し、義援金13万円を日本赤十字社を通じて送付しました。また10月18・19日に行政視察で伺った鳥取県北栄町・大山町が21日に「震度6弱を観測」というニュースに大変驚きました。お世話になった両町に見舞金を送る予定でしたが、大山町から「当町は被害が少ないので北栄町へ」とのお声をいただき、全議員より北栄町に20万円を送付しました。

被災された皆さまへ、心よりお見舞い申し上げます。

議会交際費支出状況

(平成28年4月～平成28年9月)

内訳は次のとおりです。
(詳しくは議会ホームページをご覧ください)

種別	件数	金額(円)
慶祝金	5	45,000
弔慰金	1	10,000
見舞金	0	0
会費	2	15,000
接遇費	4	38,836
その他	3	11,940
合計	15	120,776

町長行政報告

『限りゴーゴー』では、最大の難関である紐の飛び超えで順位が入れ替わるシーンに一喜一憂した保護者も多かったはずですよ。

ごみの共同処理について

町はごみの安定処理のために、ごみの発生抑制、資源化・減量化を進め、可能な限り最終処分量を削減しながら、効率的かつ安定的なごみ処理体制を構築するため、鎌倉市・逗子市との協議に参加することとし、7月29日に、逗子市役所におい

て鎌倉市、逗子市及び葉山町の2市1町でごみ処理の連携について覚書を締結しました。

図書館の壁面アート

8月12日と15日に、葉山町立図書館の南側擁壁に、町在住のアーティスト



壁面アート

編集後記

広報常任委員会では、第3回定例会終了後、鳥取県の北栄町と大山町議会に、議会だよりほかの視察に伺いました。両議会から非常に具体的な示唆をいただいた視察でした。2日目に伺った大山町議会は、議会だよりのコンクールで全国第2位に輝いた議会。視察当日も6人の広報

委員のうち3人は校正作業中で、正副委員長と他の1人で視察に対応いただきました。手にとって読んでもらえる議会だよりに、この方針に徹した読む人を引きつける編集で、表紙写真も迫力満点。

視察翌日からの議会だより編集作業では、早速参考させていただいています。視察の2日後に大きな地震に遭われた鳥取県の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。10月21日記 横山すみ子

議長 近藤 昇一
議会広報常任委員会

窪田 美樹 石岡 実成

横山 すみ子 鈴木 道子

飯山 直樹 山田 由美

畑中 由喜子 待寺 真司

笠原 俊一

平成28年第4回定例会は

12月1日(木)
からの予定です。

皆さまの傍聴を
お待ちしております。